

NEWS RELEASE

2024年6月7日

三菱マヒンドラ農機と CNH 社が CASE IH 製品の 日本におけるディストリビューター契約を締結

三菱マヒンドラ農機株式会社(本社: 島根県松江市、CEO 取締役社長: 齋藤徹、以下 三菱マヒンドラ農機)は、世界的な農業・建設機械メーカーである CNH 社と、同社が製造する農業機械 CASE (ケース) IH ブランド製品の日本でのディストリビューター契約を6月1日に締結しました。



左から、三菱マヒンドラ農機 CEO 取締役社長 齋藤徹、CNH インダストリアル社 東南アジア・日本地区担当社長マーク・プリン

三菱マヒンドラ農機は、現在、北海道で CASE IH 製品の販売・サービスを行っていますが、日本全国を対象としたディストリビューターとなることで、農地の大型化が進む本州や九州を含む全国に販売を拡大していきます。

今回の調印にあたり三菱マヒンドラ農機 CEO 齋藤徹は、「弊社は長年 CASE IH 製品の販売・サービスに携わっており、今回の契約はその関係と実績が認められた形だ。世界で最も認知の高いブランドの一つを全国で扱えることは弊社の市場におけるプレゼンスの向上に繋がり、長期的な経営戦略にも貢献する。CNH 社の期待に応えていきたい」と語りました。

CNH 社の東南アジア・日本地区担当社長のマーク・ブリンは、「日本の長年のパートナーである三菱マヒンドラ農機と今回の契約で大きな一歩を記すことができ大変喜ばしい。ディストリビューションの拡大により、クラス最高の農業機械と効率や生産性、持続可能性を高める精密なソリューションを日本全国の農業従事者に提供することで、新たな成長の機会ともなる」と語りました。

国内の農業機械市場は縮小傾向にある中で、集約化による大型機へのシフトが起きており、100 馬力以上のトラクターの需要は安定的に伸びています。CASE IH 製品は、現在 100~200 馬力クラスのトラクターを中心に販売されていますが、三菱マヒンドラ農機は今後 CNH 社と密接にコミュニケーションをとりながら、商品ラインナップを充実して日本の農家のニーズに応えていく所存です。

CASE IH について：

CASE IH は農業機械のグローバルリーダーであり、今日の農業の課題に対応するために設計された最もパワフルで生産性が高く、信頼性の高い機械をお客様と共に開発しています。米国に本社を置き、160 カ国以上にディーラーと販売店のネットワークを展開しています。CASE IH は、専門的なディーラーとディストリビューターのネットワークを通じて、農業機械システム、柔軟な金融サービス、部品とサービスサポートを農家や商業経営者に提供しています。製品には、トラクター、コンバインとハーベスター、乾牧草と飼料用機器、耕うん機、植え付けと播種システム、噴霧器とアプリケーション、および現場特有の農業ツールが含まれます。CASE IH は CNH Industrial (NYSE: CNHI)の所有するブランドの一つです。

